

事業概要シート

施策： 商工業経営基盤の強化と創業支援

《 》は、29年度の当初予算

事業名： 特産品販路開拓事業	拡充	予算額	4,927 千円	
			《 2,657 》	
		財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	4,927 千円

【事業の目的・概要・対象】

【目的】大村市外での販路開拓を図るため、関東、関西で開催される見本市への出展を促すとともに、物産展の開催により特産品のPRや知名度向上を図り、売上や取引機会の増加につなげる

【事業内容】

- (1) 大消費地圏での物産展により、大村市内事業者の販路拡大の機会を設ける。
 - ① 長崎県アンテナショップ（東京都日本橋）等での物産展②首都圏、食のセレクトショップやスーパーでのポップアップストアなど
 - (2) 「大村ゆかりの地・人」物産展
 - ① 秋田県仙北市（姉妹都市）など
 - ② 長岡安平が携わった公園（日比谷公園・数寄屋橋公園（銀座）・芝公園）など
 - ③ 荒木十畝（目黒雅叙園）
 - ④ 長岡半太郎（大阪大学学園祭「まちかね祭」）
 - (3) 見本市に地元業者に出展していただき、多くのバイヤーと触れあい、特産品の販路拡大を目指す
そのための経費の補助を行う。
 - ① スーパーマーケットトレードショー
 - ② アグリフードショー
 - ③ シーフードショー
 - ④ フードセレクション など
 - (4) 市外での物産展への助成。市外で開催される物産展に参加、又は主催する団体に対し、経費に対して補助する。
 - (5) 特産品PR
 - ① 特産品のパンフレット作成
 - ② 特産品を県人会やイベントにおける景品などとして提供しPRする。
 - ③ 新規の取引先に試供品として本市の特産品を提供する。
 - (6) 公認居酒屋
 - ① 本市にゆかりのある又は、本市の産品を使ったメニューを提供する飲食店を本市公認居酒屋とし、PRやイベントを行い、本市の物産PRを行う。
- 【対象】大都市の物産展来場者・地場産品に興味のある方々・市内事業者

【背景】

市内の市場マーケットが縮小していく中で、新たな販路を開拓を図る必要があり、市内事業者の課題でもある。

担当課	産業振興部ふるさと物産室	問合せ先	0957-53-4111(292)
-----	--------------	------	-------------------

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	物産展開催数	目標値 回	0	2	10	10	10
②	補助対象イベント等開催件数	目標値 件	0	0	30	30	30

【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (目標)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	来場者数	目標値 人		5,000	20,000	20,000	20,000
②	補助申請件数	目標値 件		0	15	15	15

【予算・決算】

年度	H26	H27	H28	H29	H30	H31	合計
事業費				2,657	4,927	4,927	12,511
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他							0
一般財源				2,657	4,927	4,927	12,511
人件費				2,314	6,942	6,942	16,198
職員				0.30人	0.90人	0.90人	2.10人
時間外勤務				20h	40h	40h	100h
嘱託員							0.00人
フルコスト	0	0	0	4,971	11,869	11,869	28,709

妥当性 (市の関与)	本市特産品の知名度向上及び販売促進を図るため、大都市圏の百貨店・大型複合商業施設及び催事場等で大村市物産展を開催するなど、特産品PRを行うことが必要。 (本市特産品の知名度向上の取り組みであり、市が積極的に取り組むことは妥当である。)
有効性 (施策貢献度)	特産品の販路開拓により大村市の地域経済活性化を図っていく。 (本市特産品の知名度及びブランド力向上を図ることは、地域活性化につながる。)
効率性 (コスト)	一過性のイベントに終わらない継続的な取り組みが必要であり、一大消費地である大都市において、特産品販路開拓事業を実施することは必要である。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価意見のとおり